

2006年8月22日 CE ジョイントキャンプ晩禱要旨

奨励題 「デジタル人間・アナログ人間 あなたはどちらですか」

日本基督教団新生教会牧師 法宥聖親

「文字は殺しますが、霊は生かします。」( コリント 3:6 )

神は、私たちに新しい契約に仕える資格、文字ではなく霊(復活の主イエス)に仕える資格を与えて下さいました。私たちは、復活の主イエス・キリストによって罪赦され永遠のいのちに入れられています。このことは、現在聖霊となられ働かれておられる復活の主が保証して下さいます。「霊は生かす」とは、聖霊が私たちの霊性を回復して下さい神の国の世継ぎとして生きることをゆるして下さい(神の新しい救いの約束・新約)を意味し、「文字は殺す」とは、律法の字面だけにこだわり律法を守ることによって救いを勝ち取ろうとする律法主義的な(神から離れた)生き方(狭い意味の古い約束・旧約)を意味しています。もともと人間は、土の器の中に神の息(ルアッハ)を吹き込んでいただいている霊的存在です(創世記 2:7)。ルアッハとは、ヘブライ語で霊(魂・心・人格)を表す言葉で、ギリシャ語ではプシュケー、ラテン語ではペルソナです。このペルソナは、英語のパーソン(人間性・人格)の語源です。

現在私たちは、大きな時代の転換期に立たされています。世の中は、どんどんアナログからデジタル化されています。2011年をめぐりに TV 放送がアナログ放送からデジタル放送に切り替わりますし、すでに私たちの周りにはデジカメ・パソコン・電子メール ETC といったデジタル製品が氾濫しています。(家電もインターネットの世界のようにネットワーク化されていくようです。)

デジタルとは、0と1の世界ですべて信号化されたものです。インターネットの文字もグラフもデジカメの写真もすべてドット(小さな点・非連続なもの)で形造られています。私たち生身の人間は、どちらかということアナログに(連続した存在として)生きています。否、神によってアナログに造られています。私たちの心や体は、コンピューターで制御されているのではなく、このくらいという感覚的なバランスの上に成り立っているのです。人間の本来の感覚・情緒は、アナログなのです。アナログとは、電流や電圧など連続的に変化する物理量を形容する言葉と定義づけることができ、連続量的な情報を analog と呼んでいます。デジタル(digital)とは、時間的には不連続なデータ(情報)であって、デジタルの断片的なデータは、一つの要素としての意味しかもたないのです。デジタルを粒子電子のドット(ぶつぶつ)と考えることができます。(甲子園の人文字の一人一人が持っているボードには、意味がありませんが、誰かの指示通り全体が集まると何かの意味を伝えるものとなるのです。デジタルは、この人文字に似ています。)

21世紀に入った現在は、デジタル(情報・機器)が主流となりつつありますから、本来アナログである人間がどのようにデジタル機器や情報に対応していくかが大きな課題となっています。

あるコンピューターの技術者が「自分は、コンピューターを扱う仕事柄、日常生活の中でもコンピューターはもちろんのこと他の様々なデジタル機器を使っているが、最近物事を深く考える時にはコンピューターのスイッチ(電源)を切り、紙に手(アナログ)で計画表や図面などを書いて頭の中を整理している。」と書いていました。まさに人間はアナログ(パーソナルな存在)として造られている故にコンピューターもパーソナルでなければならないのだと思います。コンピューターをパソコン(パーソナル・コンピューター)と呼ぶのには、深い意味(人間の願い)が込められているように思います。私は、コンピューター(他のデジタル機器)との関わりからパーソナルな面を切り離してはいけないと思います。

律法も本来は、愛の律法で人々を平和に導く神の恵みの律法であったのですが、旧約聖書の時代神の手から人間(支配者・祭司長や律法学者等)の手に奪い取られ、律法はパーソナル(神や他者を結び合わせ交信させる霊的・人格的・人間的)な面を失い人々を縛りつける道具、単に人を分け隔てする道具と化してしまったことがあります。しかし神は、イエス・キリストをこの世にお遣わし下さり、神の愛の律法を民衆の手に取り戻して下さいました。そればかりか律法の完成者であるイエスを信じ受け入れる者は救われるという新約の時代を開いて下さったのです。現在はまさに新約の時代の真っ只中にあります。

私たちはデジタルの時代にあって旧約の時代の二の舞にならないように気をつけ、アナログな人間としてパーソナルな(霊的な)面を大切にしつつデジタルを使いこなしていきたいと思います。

私たちキリスト者は、デジタル通信よりももっと崇高な聖霊通信によって生かされているのですから、すべてを結ぶ霊的な面を大切にアナログな心を持ってデジタル(機器・情報)を使いこなしていきたいものです。

最後に以下の質問を皆さまにさせていただき、晩禱の奨励を終えたいと思います。

「あなたは、デジタルに支配されたデジタル人間ですか。それともパーソナルな心でデジタルを使いこなすアナログ人間ですか。」